



防護柵（青い矢印部分）が設置された自動ドア

市民の安全最優先！

〔一般会計補正〕
自動ドア挟み込み防護柵
迅速な設置を評価
981万円

全会一致で
可決

平成19年度

一般会計補正予算

(第3号) **3,965万5,000円**

(第4号) **572万9,000円**

■補正の主な内容（第3号）

自動ドア防護柵設置事業	981万円
旧上野台保育所跡地仮設駐車場整備工事	197万円
介護保険特別会計繰出金	3,236万円
障害者在宅援護事業	1,440万円
公園樹木剪定業務委託料	441万円
上福岡駅前通線（川崎橋）事業費負担金	2,128万円
建築紛争相談員及び建築紛争調停委員会報酬	103万円
国民健康保険特別会計繰出金	1,505万円
道路新設改良工事	1,972万円

■補正の主な内容（第4号）

江川分館建替工事請負費	572万円
-------------	-------

平成19年度一般会計補正予算（第3号）と、議会最終日に提出された補正第4号は、全会一致で可決。

**主
な
意
見**

・自主財源が六四・六％と前年度比五・二％増となっている。一方、地方交付税は減少している。市民サービス維持のためにも、交付税だけに頼らず、自主財源の確保のため、収納率引き上げの努力を望む。

・市の一面的な財政危機キャンペーンによって、市民は皆心配している。そのことによって市民サービスを切り捨てたりすることがあってはならない。自動ドア防護柵、生活道路の改良などは評価するが、セーフティネットが今回もない。

・公共施設安全点検結果による自動ドアの挟み込み防止防護柵の設置は、全国に先駆けたもので、迅速な対応を評価する。

・国の三位一体改革の厳しい状況下、財政運営に当たっては、今後も慎重な対応を望む。